

令和3年度

暮らしと環境，事業所ごみに関するアンケート調査

調査報告書

高知市

目次

第1章 調査の概要	2
第2章 調査結果	3
第1節 事業所のことについて	
1. 回答者の属性（問1～問6）	3
第2節 事業所のごみに関することについて	
1. 廃棄物の区分と排出方法について（問7～問12）	6
2. ごみ処理にかかる年間経費について（問13）	13
第3節 事業所におけるSDGsへの取り組みについて	
1. SDGsへの取り組み状況について（問14～問15）	14
第4節 事業所の環境活動、ごみの減量や資源化への取り組みなどについて	
1. 経営方針の中への位置づけについて（問16）	16
2. ごみの減量や資源化の取り組みについて（問17～問21）	17
3. ごみの減量や資源化を進めるうえでの問題点について（問22）	21
4. ごみの減量や資源化に取り組むうえで行政に期待することについて（問23）	22
第3章 調査票	23

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、本市に所在する事業所が事業活動の中で、ごみをどのように排出しているのか、また、その実態及び事業所のごみ問題に対する意識や価値観を把握することにより、市民満足度の高い廃棄物行政を推進していくための基礎資料とするものである。

2. 調査対象

高知市内に事業所を有する 300 事業所を無作為抽出した。

3. 調査方法

郵送法

4. 調査期間

令和 3 年 8 月 2 日（月）～令和 3 年 8 月 31 日（火）

5. 回収状況

配布数	300 事業所
有効回収数	118 事業所
有効回収率	39.3 %

6. 調査結果の見方

- (1) 複数回答可の設問は、すべての事業所数を合計すると回答数の数値を超える場合があります。
- (2) 比率は、小数第 2 位を四捨五入しているため、比率の合計が 100.0%にならない場合があります。
- (3) グラフに掲載している「N」の数値は、回答数を表しており、回答数は設問ごとに異なるため、「N」の数値は一律ではありません。

第2章 調査結果

第1節 事業所のことについて

1. 回答者の属性（問1～問6）

問1. あなたの事業所はどの業種に該当しますか。（あてはまる番号1つに○）

「卸売業、小売業」が最も多く16.4%、次いで「宿泊業、飲食サービス業」が13.8%、「建設業」と「不動産業、賃貸業」が同一の10.3%となっている。

卸売業、小売業	19件, 16.4%
宿泊業、飲食サービス業	16件, 13.8%
建設業	12件, 10.3%
不動産業、賃貸業	12件, 10.3%
学術研究、専門、技術サービス業	9件, 7.8%
生活関連サービス業、娯楽業	8件, 6.9%
製造業	7件, 6.0%
医療、福祉	7件, 6.0%
農業、林業、漁業	3件, 2.6%
情報通信業	3件, 2.6%
運輸業、郵便業	3件, 2.6%
金融業、保険業	3件, 2.6%
教育、学習支援業	3件, 2.6%
電気・ガス・熱供給・水道業	1件, 0.9%
その他	10件, 8.6%
(N=116)	0% 15%

問1「その他」（具体的に）

記載内容【要約】	回答事業所数	回答比率
公務	5	55.6%
自動車整備業	1	11.1%
総合サービス業	1	11.1%
総合農協	1	11.1%
労働者福祉活動	1	11.1%
累計（延べ数）	9	100.0%
回答数（実数）	9	100.0%
無回答	1	
合計	10	

問2. あなたの事業所の形態はどれにあてはまりますか。(あてはまる番号1つに○)

「事務所（本社，支社，支店，営業所など）」が最も多く 44.7%，次いで「ホテル，旅館」が 10.5%，「工場，作業所」と「デパート，スーパー，ドラッグストア」が同一の 6.1%となっている。

事務所（本社，支社，支店，営業所など）	51件，44.7%
ホテル，旅館	12件，10.5%
工場，作業所	7件，6.1%
デパート，スーパー，ドラッグストア	7件，6.1%
病院，医療機関，福祉施設	5件，4.4%
映画館，劇場，会館，娯楽施設	5件，4.4%
飲食店	4件，3.5%
コンビニエンスストア，商店	2件，1.8%
倉庫，配送センター	0件，0.0%
美容院，理容店	0件，0.0%
その他	21件，18.4%
(N=114)	0% 45%

問2 「その他」（具体的に）

記載内容【要約】	回答事業所数	回答比率
駐車場	2	10.5%
官公庁	2	10.5%
本社・スタジオ	1	5.3%
保育所	1	5.3%
文化施設	1	5.3%
植物園	1	5.3%
若者支援	1	5.3%
刺繍・プリント	1	5.3%
個人タクシー	1	5.3%
結婚式場	1	5.3%
警察署	1	5.3%
学術集会・講習会	1	5.3%
営農	1	5.3%
ホームセンター	1	5.3%
ダスキンサービス業	1	5.3%
スポーツ用品小売り	1	5.3%
NPO法人	1	5.3%
累計（延べ数）	19	100.0%
回答数（実数）	19	100.0%
無回答	2	
合計	21	

問3. あなたの事業所の従業員（非正規従業員を含み、役員等は除く）は何人ですか。
（あてはまる番号1つに○）

「5人未満」が最も多く30.5%、次いで「10人～19人」が16.9%、「100人～499人」が12.7%であった。

5人未満	36件, 30.5%
5人～9人	11件, 9.3%
10人～19人	20件, 16.9%
20人～29人	8件, 6.8%
30人～49人	11件, 9.3%
50人～99人	13件, 11.0%
100人～499人	15件, 12.7%
500人～999人	3件, 2.5%
1,000人以上	1件, 0.8%
(N=118)	0% 30%

問4. あなたの事業所の建物の、所有形態はどれに該当しますか。（あてはまる番号1つに○）

「自社（自己所有）またはグループ所有」が74.8%、「賃貸・テナント」が25.2%となっている。

自社（自己所有）またはグループ所有	86件, 74.8%
賃貸・テナント	29件, 25.2%
(N=115)	0% 40% 80%

問5. あなたの事業所が、使用している全ての建物の延床面積はどれくらいですか。
（あてはまる番号1つに○）

「100㎡～999㎡」が最も多く31.5%、次いで「100㎡未満」が21.3%、「1,000㎡～2,999㎡」が17.6%となっている。

100㎡未満	23件, 21.3%
100㎡～999㎡	34件, 31.5%
1,000㎡～2,999㎡	19件, 17.6%
3,000㎡～7,999㎡	16件, 14.8%
8,000㎡以上	16件, 14.8%
(N=108)	0% 15% 30%

問6. 問5の建物の中には、経営者や従業員の住まいを併設していますか。
（あてはまる番号1つに○）

「併設していない」が80.5%、「併設している」が19.5%となっている。

併設していない	95件, 80.5%
併設している	23件, 19.5%
(N=118)	0% 40% 80%

第2節 事業所のごみに関することについて

1. 廃棄物の区分と排出方法について（問7～問12）

問7. 問6で「併設している」と答えられた方にお伺いします。
事業所と住居部分のごみをそれぞれ事業所ごみと家庭ごみとに区分して排出していますか。
(あてはまる番号1つに○)

「区分して排出している」が最も多く 54.5%で全体の半分を占めており、次いで「区分せずに家庭ごみとして排出している」が 36.4%、「区分せずに事業所ごみとして排出している」が 9.1%となっている。

区分して排出している	12件, 54.5%
区分せずに家庭ごみとして排出している	8件, 36.4%
区分せずに事業所ごみとして排出している	2件, 9.1%
(N=22)	0% 25% 50%

問8. あなたの事業所では、ごみの排出量を把握していますか。(あてはまる番号1つに○)

「すべて把握している」と「一部は把握している」が同一の 43.1%で「把握している」が8割以上を占めており、「把握していない」が 13.8%となっている。

すべて把握している	47件, 43.1%
一部は把握している	47件, 43.1%
把握していない	15件, 13.8%
(N=109)	0% 20% 40%

問9. あなたの事業所で、排出量の多いごみは何ですか。(あてはまる番号3つまで○)

「古紙類（OA用紙，新聞，雑誌，段ボール）」が最も多く 77.7%，次いで「生ごみ（食品の食べ残しや調理残渣）」が 42.0%、「ペットボトル」が 25.0%となっている。

古紙類（OA用紙，新聞，雑誌，段ボール）	87件, 77.7%
生ごみ（食品の食べ残しや調理残渣）	47件, 42.0%
ペットボトル	28件, 25.0%
プラスチック製容器包装（弁当容器など）	26件, 23.2%
缶・金属類	16件, 14.3%
プラスチック製品（文具など）	12件, 10.7%
不燃ごみ（ガラスや陶器類など）	11件, 9.8%
ビン	3件, 2.7%
その他	13件, 11.6%
(N=112)	0% 75%

※ 複数回答あり（1回答事業所あたり複数の回答があるため、累計（延べ数）が回答数（実数）を上回ります）

問9 「その他」(具体的に)

記載内容【要約】	回答事業所数	回答比率
医療系廃棄物	2	15.4%
廃プラスチック類	1	7.7%
馬糞	1	7.7%
紙	1	7.7%
使用済みおむつ	1	7.7%
産業廃棄物	1	7.7%
建設廃棄物	1	7.7%
蛍光灯	1	7.7%
球根	1	7.7%
汚泥	1	7.7%
パソコンなどOA機器	1	7.7%
セメント袋	1	7.7%
累計(延べ数)	13	100.0%
回答数(実数)	13	100.0%
無回答	0	
合計	13	

問10. 事業活動に伴って排出されるごみは、「産業廃棄物」と「事業系一般廃棄物」に区分され、それぞれ処理方法が異なります。産業廃棄物と事業系一般廃棄物の区分の違いをご存じですか。(あてはまる番号1つに○)

「ある程度知っている」が最も多く53.9%、次いで「よく知っている」が33.0%で、区分の違いについて「知っている」という事業所が全体の8割以上を占めている。「あまり知らない」が11.3%となっている。

ある程度知っている	62件, 53.9%
よく知っている	38件, 33.0%
あまり知らない	13件, 11.3%
全く知らない	2件, 1.7%
(N=115)	0% 25% 50%

問 11. 事業活動に伴って排出される下記のプラスチック類は産業廃棄物に区分されますが、あなたの事業所はどのような方法で処理していますか。(あてはまるすべての番号に○)

プラスチック製品

「産業廃棄物として処理」が最も多く 49.0%，次いで「一般廃棄物として処理」が 26.0%，「仕入れ業者が回収」が 14.0%となっている。

産業廃棄物として処理	49件, 49.0%
一般廃棄物として処理	26件, 26.0%
仕入れ業者が回収	14件, 14.0%
その他	11件, 11.0%
(N=100)	0% 50%

プラスチック製品「その他」(具体的に)

記載内容【要約】	回答事業所数	回答比率
収集運搬業者に委託	3	27.3%
スーパー・量販店の回収ボックスに排出	2	18.2%
清掃会社が回収	1	9.1%
処理施設に搬入	1	9.1%
指定業者	1	9.1%
家主が業者に依頼	1	9.1%
プラスチック製容器包装の日に排出	1	9.1%
コンビニエンスストアに排出	1	9.1%
累計(延べ数)	11	100.0%
回答数(実数)	11	100.0%
無回答	0	
合計	11	

プラスチック製容器包装

「産業廃棄物として処理」が最も多く 40.2%，次いで「一般廃棄物として処理」が 28.9%，「仕入れ業者が回収」が 18.6%となっている。

産業廃棄物として処理	39件, 40.2%
一般廃棄物として処理	28件, 28.9%
仕入れ業者が回収	18件, 18.6%
その他	15件, 15.5%
(N=97)	0% 20% 40%

※ 複数回答あり(1回答事業所あたり複数の回答があるため、累計(延べ数)が回答数(実数)を上回ります)

プラスチック製容器包装「その他」(具体的に)

記載内容【要約】	回答事業所数	回答比率
収集運搬業者に委託	4	26.7%
スーパー・量販店の回収ボックスに排出	3	20.0%
清掃会社が回収	1	6.7%
処理施設に搬入	1	6.7%
指定業者	1	6.7%
業者等に売却	1	6.7%
家庭ごみの収集日にステーションに排出	1	6.7%
家主が業者に依頼	1	6.7%
リサイクル回収へ	1	6.7%
コンビニエンスストアに排出	1	6.7%
累計(延べ数)	15	100.0%
回答数(実数)	15	100.0%
無回答	0	
合計	15	

ペットボトル

「仕入れ業者が回収」が最も多く 32.0%，次いで「産業廃棄物として処理」が 31.0%，「その他」が 22.0%となっている。

仕入れ業者が回収	32件, 32.0%
産業廃棄物として処理	31件, 31.0%
一般廃棄物として処理	19件, 19.0%
その他	22件, 22.0%
(N=100)	0% 15% 30%

※ 複数回答あり(1回答事業所あたり複数の回答があるため、累計(延べ数)が回答数(実数)を上回ります)

ペットボトル「その他」(具体的に)

記載内容【要約】	回答事業所数	回答比率
スーパー・量販店の回収ボックスに排出	7	31.8%
収集運搬業者に委託	4	18.2%
個人で持ち帰り	2	9.1%
リサイクル回収へ	2	9.1%
コンビニエンスストアに排出	2	9.1%
清掃会社が回収	1	4.5%
処理施設に搬入	1	4.5%
指定業者	1	4.5%
購入店へ持ち込み・回収	1	4.5%
業者等に売却	1	4.5%
家主が業者に依頼	1	4.5%
累計(延べ数)	23	104.5%
回答数(実数)	22	100.0%
無回答	0	
合計	22	

※ 記載内容が複数あるとき、分割して集計しているため、累計(延べ数)が回答数(実数)を上回ります。

問 12. 下記のごみはどのような方法で処理していますか。(あてはまるすべての番号に○)

生ごみ

「収集運搬業者に委託」が最も多く 80.0%，次いで「処理施設へ自己搬入」と「その他」が同一の 9.5%，「再資源化業者に委託」が 3.2%となっている。

収集運搬業者に委託	76件, 80.0%
処理施設へ自己搬入	9件, 9.5%
再資源化業者に委託	3件, 3.2%
その他	9件, 9.5%
(N=95)	0% 80%

※ 複数回答あり（1回答事業所あたり複数の回答があるため、累計（延べ数）が回答数（実数）を上回ります）

生ごみ「その他」（具体的に）

記載内容【要約】	回答事業所数	回答比率
家庭ごみの収集日にステーションに排出	6	66.7%
個人で持ち帰り	2	22.2%
清掃会社が回収	1	11.1%
累計（延べ数）	9	100.0%
回答数（実数）	9	100.0%
無回答	0	
合計	9	

古紙

「収集運搬業者に委託」が最も多く 57.5%，次いで「再資源化業者に委託」が 22.6%，「処理施設へ自己搬入」が 20.8%となっている。

収集運搬業者に委託	61件, 57.5%
再資源化業者に委託	24件, 22.6%
処理施設へ自己搬入	22件, 20.8%
その他	7件, 6.6%
(N=106)	0% 55%

※ 複数回答あり（1回答事業所あたり複数の回答があるため、累計（延べ数）が回答数（実数）を上回ります）

古紙「その他」(具体的に)

記載内容【要約】	回答事業所数	回答比率
家庭ごみの収集日にステーションに排出	2	28.6%
古紙回収業者に依頼	1	14.3%
回収場所へ持ち込み	1	14.3%
一般廃棄物として排出	1	14.3%
スーパー・量販店の回収ボックス	1	14.3%
クリーン推進会を利用	1	14.3%
累計(延べ数)	7	100.0%
回答数(実数)	7	100.0%
無回答	0	
合計	7	

缶・金属類

「収集運搬業者に委託」が最も多く59.8%、次いで「再資源化業者に委託」が21.6%、「処理施設へ自己搬入」が12.7%となっている。

収集運搬業者に委託	61件, 59.8%
再資源化業者に委託	22件, 21.6%
処理施設へ自己搬入	13件, 12.7%
その他	8件, 7.8%
(N=102)	0% 60%

※ 複数回答あり(1回答事業所あたり複数の回答があるため、累計(延べ数)が回答数(実数)を上回ります)

缶・金属類「その他」(具体的に)

記載内容【要約】	回答事業所数	回答比率
家庭ごみの収集日にステーションに排出	7	87.5%
清掃会社が回収	1	12.5%
累計(延べ数)	8	100.0%
回答数(実数)	8	100.0%
無回答	0	
合計	8	

ビン類

「収集運搬業者に委託」が最も多く 63.7%，次いで「再資源化業者に委託」が 16.7%，「処理施設へ自己搬入」と「その他」が同一の 9.8%となっている。

収集運搬業者に委託	65件, 63.7%
再資源化業者に委託	17件, 16.7%
処理施設へ自己搬入	10件, 9.8%
その他	10件, 9.8%
(N=102)	0% 60%

ビン類「その他」(具体的に)

記載内容【要約】	回答事業所数	回答比率
家庭ごみの収集日にステーションに排出	8	80.0%
清掃会社が回収	1	10.0%
再利用	1	10.0%
累計(延べ数)	10	100.0%
回答数(実数)	10	100.0%
無回答	0	
合計	10	

不燃ごみ

「収集運搬業者に委託」が最も多く 65.0%，次いで「再資源化業者に委託」が 14.6%，「処理施設へ自己搬入」が 12.6%となっている。

収集運搬業者に委託	67件, 65.0%
再資源化業者に委託	15件, 14.6%
処理施設へ自己搬入	13件, 12.6%
その他	9件, 8.7%
(N=103)	0% 65%

※ 複数回答あり(1回答事業所あたり複数の回答があるため、累計(延べ数)が回答数(実数)を上回ります)

不燃ごみ「その他」(具体的に)

記載内容【要約】	回答事業所数	回答比率
家庭ごみの収集日にステーションに排出	7	77.8%
清掃会社が回収	1	11.1%
産廃業者に委託	1	11.1%
累計(延べ数)	9	100.0%
回答数(実数)	9	100.0%
無回答	0	
合計	9	

その他

「収集運搬業者に委託」が最も多く 74.6%，次いで「処理施設へ自己搬入」が 11.3%，「再資源化業者に委託」が 8.5%となっている。

収集運搬業者に委託	53件, 74.6%
処理施設へ自己搬入	8件, 11.3%
再資源化業者に委託	6件, 8.5%
その他	4件, 5.6%
(N=71)	0% 75%

その他「その他」(具体的に)

記載内容【要約】	回答事業所数	回答比率
家庭ごみの収集日にステーションに排出	2	50.0%
清掃会社が回収	1	25.0%
産廃業者に委託	1	25.0%
累計(延べ数)	4	100.0%
回答数(実数)	4	100.0%
無回答	0	
合計	4	

2. ごみ処理にかかる年間経費について(問13)

問13. あなたの事業所では、ごみ処理(リサイクル費用を含む)にかかる経費として、年間でどの程度かかっていますか。(あてはまる番号1つに○)

「10万円～50万円未満」が最も多く 24.6%，次いで「1万円未満」と「100万円～500万円未満」が同一の 16.7%，「50万円～100万円未満」が 12.3%となっている。

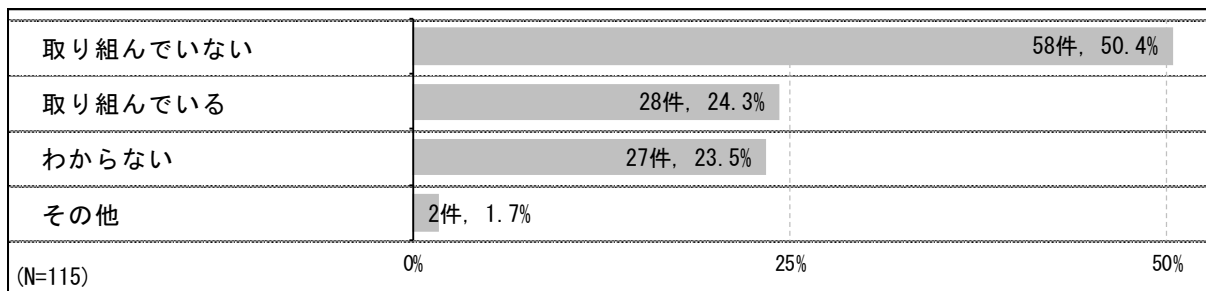
1万円未満	19件, 16.7%
1万円～5万円未満	10件, 8.8%
5万円～10万円未満	8件, 7.0%
10万円～50万円未満	28件, 24.6%
50万円～100万円未満	14件, 12.3%
100万円～500万円未満	19件, 16.7%
500万円～1,000万円未満	4件, 3.5%
1,000万円以上	4件, 3.5%
把握していない	8件, 7.0%
(N=114)	0% 10% 20%

第3節 事業所におけるSDGsへの取り組みについて

1. SDGsへの取り組み状況について（問14～問15）

問14. あなたの事業所では、「SDGs（エスディーズ）」（持続可能な開発目標）で達成を目指す17のゴール（目標）と169のターゲット（より具体的な目標）のうち、いずれかに取り組んでいますか。（あてはまる番号1つに○）

「取り組んでいない」が最も多く50.4%、次いで「取り組んでいる」が24.3%、「わからない」が23.5%となっている。



問14「その他」（具体的に）

記載内容【要約】	回答事業所数	回答比率
まだ取り組むまでには至っていない	1	50.0%
これから取り組む予定	1	50.0%
累計（延べ数）	2	100.0%
回答数（実数）	2	100.0%
無回答	0	
合計	2	

問 15. 問 14 で「取り組んでいる」と答えられた事業所にお伺いします。現在、取り組まれている活動は「SDGs」の達成を目指す 17 のゴールのどれに該当しますか。
(あてはまるすべての番号に○)

「ゴール 11 住み続けられるまちづくりを」が最も多く 63.0%、次いで「ゴール 12 つくる責任 つかう責任」が 55.6%、「ゴール 3 すべての人に健康と福祉を」と「ゴール 8 働きがいも経済成長も」が同一の 44.4% となっている。

ゴール 1	貧困をなくそう	5件, 18.5%
ゴール 2	飢餓をゼロに	3件, 11.1%
ゴール 3	すべての人に健康と福祉を	12件, 44.4%
ゴール 4	質の高い教育をみんなに	9件, 33.3%
ゴール 5	ジェンダー平等を実現しよう	7件, 25.9%
ゴール 6	安全な水とトイレを世界中に	2件, 7.4%
ゴール 7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	11件, 40.7%
ゴール 8	働きがいも経済成長も	12件, 44.4%
ゴール 9	産業と技術革新の基盤をつくろう	4件, 14.8%
ゴール 10	人や国の不平等をなくそう	4件, 14.8%
ゴール 11	住み続けられるまちづくりを	17件, 63.0%
ゴール 12	つくる責任 つかう責任	15件, 55.6%
ゴール 13	気候変動に具体的な対策を	11件, 40.7%
ゴール 14	海の豊かさを守ろう	10件, 37.0%
ゴール 15	陸の豊かさを守ろう	11件, 40.7%
ゴール 16	平和と公正をすべての人に	6件, 22.2%
ゴール 17	パートナーシップで目標を達成しよう	8件, 29.6%
(N=27)		0% 30% 60%

※ 複数回答あり（1 回答事業所あたり複数の回答があるため、累計（延べ数）が回答数（実数）を上回ります）

第4節 事業所の環境活動、ごみの減量や資源化への取り組みなどについて

1. 経営方針の中への位置づけについて（問16）

問16. あなたの事業所では、環境問題、ごみの減量や資源化などへの取り組みを経営方針の中に位置づけていますか。（あてはまる番号1つに○）

「位置づけていない」が最も多く70.8%、次いで「位置づけている」が21.2%、「今後、位置づける予定」が6.2%となっている。

位置づけていない	80件, 70.8%
位置づけている	24件, 21.2%
今後、位置づける予定	7件, 6.2%
今後もしも位置づける予定はない	2件, 1.8%
(N=113)	0% 70%

問16「位置づけている」（位置づけている内容）

記載内容【要約】	回答事業所数	回答比率
環境保全への取り組み	5	35.7%
ごみの減量	4	28.6%
両面印刷・裏紙の利用	2	14.3%
持続可能な社会への取り組み	2	14.3%
リサイクルの推進	2	14.3%
グリーン購入	2	14.3%
省エネルギー	1	7.1%
住宅建築における建材や住環境の提案	1	7.1%
資源の有効活用	1	7.1%
累計（延べ数）	20	142.9%
回答数（実数）	14	100.0%
無回答	10	
合計	24	

※ 記載内容が複数あるとき、分割して集計しているため、累計（延べ数）が回答数（実数）を上回ります。

問16「今後、位置づける予定」（位置づける予定の内容）

記載内容【要約】	回答事業所数	回答比率
分別の強化	1	20.0%
ペットボトルごみ30%減	1	20.0%
ペーパーレス化	1	20.0%
ビンの再利用	1	20.0%
ごみの減量	1	20.0%
累計（延べ数）	5	100.0%
回答数（実数）	5	100.0%
無回答	2	
合計	7	

2. ごみの減量や資源化の取り組みについて（問 17～問 21）

問 17. あなたの事業所では、日頃からごみの減量や資源化に取り組んでいますか。
（あてはまる番号1つに○）

「ある程度取り組んでいる」が最も多く 53.4%、次いで「あまり取り組んでいない」が 19.8%、「積極的に取り組んでいる」が 14.7%となっている。「取り組んでいる」と回答した事業所が7割を占めている。

ある程度取り組んでいる	62件, 53.4%
あまり取り組んでいない	23件, 19.8%
積極的に取り組んでいる	17件, 14.7%
取り組んでいないが、今後は検討したい	10件, 8.6%
取り組んでいないし、今後もしも取り組む予定はない	4件, 3.4%
(N=116)	0% 50%

問 18. 問 17 で、「積極的に取り組んでいる」「ある程度取り組んでいる」「あまり取り組んでいない」のいずれかと答えられた方にお伺いします。あなたの事業所がごみの減量や資源化に取り組んでいるのはどのような理由からでしょうか。（あてはまるすべての番号に○）

「ごみ処理経費の削減のため」が最も多く 61.4%、次いで「企業の社会的責任を果たすため」が 56.4%、「経営方針等に基づく環境負荷の低減（CO2の削減など）のため」が 30.7%となっている。

ごみ処理経費の削減のため	62件, 61.4%
企業の社会的責任を果たすため	57件, 56.4%
経営方針等に基づく環境負荷の低減（CO2の削減など）のため	31件, 30.7%
ごみを保管するのに問題が生じたため	11件, 10.9%
会社のイメージ・競争力アップのため	9件, 8.9%
会社、業界へ取り組み支持があったため	7件, 6.9%
その他	3件, 3.0%
(N=101)	0% 30% 60%

※ 複数回答あり（1回答事業所あたり複数の回答があるため、累計（延べ数）が回答数（実数）を上回ります）

問 18 「その他」（具体的に）

記載内容【要約】	回答事業所数	回答比率
資源の有効活用のため、ある程度取り組んでいる。	1	33.3%
元々多くないため、あまり取り組んでいない。	1	33.3%
医療系廃棄物が多く減量が難しいため、あまり取り組んでいない。	1	33.3%
累計（延べ数）	3	100.0%
回答数（実数）	3	100.0%
無回答	0	
合計	3	

問 19. 問 17 で、「積極的に取り組んでいる」「ある程度取り組んでいる」「あまり取り組んでいない」のいずれかと答えられた方にお伺いします。現在、あなたの事業所では、ごみの減量や資源化としてどのような取り組みを行っていますか。（あてはまるすべての番号に○）

「使用済みOA用紙の裏紙活用や、両面コピーなど、紙を有効利用している」が最も多く 88.4%，次いで「データ等の電子化によるペーパーレス化を推進している」が 50.5%，「適正な在庫管理を心がけている」が 42.1% となっている。

使用済みOA用紙の裏紙活用や、両面コピーなど、紙を有効利用している	84件, 88.4%
データ等の電子化によるペーパーレス化を推進している	48件, 50.5%
適正な在庫管理を心がけている	40件, 42.1%
従業員向けに、ごみの分別や資源回収のためのボックス等を設置している	38件, 40.0%
古紙類の分別を徹底し、資源化ルートにのせている	36件, 37.9%
食品ロス（食べ残し・調理くず）が少なくなるような工夫をしている	22件, 23.2%
廃棄物管理責任者又は廃棄物管理担当者を定めている	17件, 17.9%
マイバッグ運動や持参レジ袋の有料化を行っている	15件, 15.8%
簡易包装を推進している	13件, 13.7%
繰り返し使用できる製品や、グリーン購入対象品を使用または生産、販売している	13件, 13.7%
シュレッダーごみを資源化している	12件, 12.6%
割り箸や使い捨てカップ・容器等の使い捨て製品を使わないようにしている	7件, 7.4%
顧客向けに、店頭回収（資源回収ボックス等の設置）を実施している	6件, 6.3%
事業所の3R（リデュース・リユース・リサイクル）への取り組みをPRしている	5件, 5.3%
減量化・資源化計画を作成している	3件, 3.2%
環境マネジメントシステム（EMS）の認証取得（エコアクション21, ISO14001など）をしている	3件, 3.2%
生ごみ処理容器を導入している	1件, 1.1%
その他	1件, 1.1%
(N=95)	0% 85%

※ 複数回答あり（1回答事業所あたり複数の回答があるため、累計（延べ数）が回答数（実数）を上回ります）

問 19 「その他」（具体的に）

記載内容【要約】	回答事業所数	回答比率
国際イニシアティブEP100・EV100に参加	1	100.0%
累計（延べ数）	1	100.0%
回答数（実数）	1	100.0%
無回答	0	
合計	1	

問 20. 問 17 で、「取り組んでいないが、今後は検討したい」と答えられた方にお伺いします。あなたの事業所で、「今後は検討したい」とするごみの減量や資源化への取り組みはどのような内容でしょうか。(あてはまるすべての番号に○)

「使用済みOA用紙の裏紙活用や、両面コピーなど、紙を有効利用する」が最も多く 77.8%、次いで「データ等の電子化によるペーパーレス化を推進する」が 44.4%、「古紙類の分別を徹底し、資源化ルートにのせる」、「割り箸や使い捨てカップ・容器等の使い捨て製品を使わないようにする」、「食品ロス（食べ残し・調理くず）が少なくなるような工夫をする」、「繰り返し使用できる製品や、グリーン購入対象品を使用または生産、販売する」、「適正な在庫管理を心がける」が同一の 22.2%となっている。

使用済みOA用紙の裏紙活用や、両面コピーなど、紙を有効利用する	7件, 77.8%
データ等の電子化によるペーパーレス化を推進する	4件, 44.4%
古紙類の分別を徹底し、資源化ルートにのせる	2件, 22.2%
割り箸や使い捨てカップ・容器等の使い捨て製品を使わないようにする	2件, 22.2%
食品ロス（食べ残し・調理くず）が少なくなるような工夫をする	2件, 22.2%
繰り返し使用できる製品や、グリーン購入対象品を使用または生産、販売する	2件, 22.2%
適正な在庫管理を心がける	2件, 22.2%
マイバッグ運動やレジ袋の有料化を行う	1件, 11.1%
従業員向けに、ごみの分別や資源回収のためのボックス等を設置する	1件, 11.1%
環境マネジメントシステム（EMS）の認証取得（エコアクション21、ISO14001など）をする	1件, 11.1%
シュレッダーごみを資源化する	0件, 0.0%
簡易包装を推進する	0件, 0.0%
生ごみ処理容器を導入する	0件, 0.0%
顧客向けに、店頭回収（資源回収ボックス等の設置）を実施する	0件, 0.0%
減量化・資源化計画を作成する	0件, 0.0%
事業所の3R（リデュース・リユース・リサイクル）への取り組みをPRする	0件, 0.0%
廃棄物管理責任者又は廃棄物管理担当者を定める	0件, 0.0%
その他	0件, 0.0%
(N=9)	0% 75%

※ 複数回答あり（1回答事業所あたり複数の回答があるため、累計（延べ数）が回答数（実数）を上回ります）

問 21. 問 17 で、「取り組んでいないし、今後も取り組む予定はない」以外のいずれかと答えられた方にお伺いします。あなたの事業所で、今後、新たに又はこれまで以上にごみの減量や資源化したいと考えているごみの種類は次のどれでしょうか。（あてはまるすべての番号に○）

「OA用紙」が最も多く 51.6%，次いで「段ボール」が 35.5%，「新聞・雑誌類」が 25.8%となっており，古紙類が大半を占めていることが分かる。

OA用紙	48件, 51.6%
段ボール	33件, 35.5%
新聞・雑誌類	24件, 25.8%
ペットボトル	20件, 21.5%
シュレッダー紙	17件, 18.3%
生ごみ	16件, 17.2%
プラスチック製品	11件, 11.8%
缶・金属類	9件, 9.7%
プラスチック製容器包装	7件, 7.5%
発泡スチロール	7件, 7.5%
ビン	6件, 6.5%
粗大ごみ	6件, 6.5%
古布類	4件, 4.3%
木くず, 剪定枝	4件, 4.3%
小型家電製品	3件, 3.2%
その他	4件, 4.3%
(N=93)	0% 50%

※ 複数回答あり（1回答事業所あたり複数の回答があるため、累計（延べ数）が回答数（実数）を上回ります）

問 21 「その他」（具体的に）

記載内容【要約】	回答事業所数	回答比率
木材の端材	1	25.0%
馬糞	1	25.0%
全ての事業系ごみを減量することは難しいが、資源化するための努力はする。	1	25.0%
産業廃棄物	1	25.0%
累計（延べ数）	4	100.0%
回答数（実数）	4	100.0%
無回答	0	
合計	4	

3. ごみの減量や資源化を進めるうえでの問題点について（問 22）

問 22. あなたの事業所で、ごみの減量や資源化を進めていくうえで、どのような問題点がありますか。（あてはまるすべての番号に○）

「分別に手間や費用がかかる」が最も多く 36.5%，次いで「資源化にかかる費用が高い」が 32.7%，「ペーパーレス化など、紙類の使用量を削減する取り組みが難しい」が 23.1%となっている。

分別に手間や費用がかかる	38件, 36.5%
資源化にかかる費用が高い	34件, 32.7%
ペーパーレス化など、紙類の使用量を削減する取り組みが難しい	24件, 23.1%
機密文書が多く資源化が難しい	23件, 22.1%
分別した資源物等の保管場所がない	21件, 20.2%
従業員に対して、分別や資源化を徹底させ、意識改革を図ることが難しい	19件, 18.3%
減量してもごみ処理経費が削減されるなどの経済的メリットがない	15件, 14.4%
分別や資源化の方法が分からない	9件, 8.7%
適切な資源物回収業者が分からない	9件, 8.7%
ごみ処理や資源化について、質問や相談する窓口が分からない	5件, 4.8%
その他	4件, 3.8%
(N=104)	0% 15% 30%

※ 複数回答あり（1回答事業所あたり複数の回答があるため、累計（延べ数）が回答数（実数）を上回ります）

問 22 「その他」（具体的に）

記載内容【要約】	回答事業所数	回答比率
必要性を感じない	1	33.3%
元々多くない	1	33.3%
医療系廃棄物のため削減することが難しい	1	33.3%
累計（延べ数）	3	100.0%
回答数（実数）	3	100.0%
無回答	1	
合計	4	

4. ごみの減量や資源化に取り組むうえで行政に期待することについて（問 23）

問 23. 今後、あなたの事業所がごみの減量や資源化に取り組んでいくために、行政に期待することはどのようなことでしょうか。（あてはまるすべての番号に○）

「他の事業所が取り組んでいる先進事例の紹介」が最も多く 54.6%，次いで「許可を持つごみ処理業者や資源物回収業者に関する情報提供の充実」が 50.5%，「事業所から出た資源化可能な紙類などを市が資源物として受け入れる」が 23.7%となっている。情報の提供を求める意見が多いということが分かる。

他の事業所が取り組んでいる先進事例の紹介	53件, 54.6%
許可を持つごみ処理業者や資源物回収業者に関する情報提供の充実	49件, 50.5%
事業所から出た資源化可能な紙類などを市が資源物として受け入れる	23件, 23.7%
優良な排出事業者を表彰する制度の導入	8件, 8.2%
一定規模の一般廃棄物多量排出事業者に対して減量計画書の提出を義務づける	3件, 3.1%
事業所から出た資源化可能な紙類の清掃工場への搬入禁止	3件, 3.1%
事業所に対する指導	3件, 3.1%
その他	6件, 6.2%
(N=97)	0% 55%

※ 複数回答あり（1回答事業所あたり複数の回答があるため、累計（延べ数）が回答数（実数）を上回ります）

問 23 「その他」（具体的に）

記載内容【要約】	回答事業所数	回答比率
生ごみを回収して、資源化するシステムを作っていただきたい。	1	16.7%
収集運搬料金の適正化	1	16.7%
事業所ごみと家庭ごみの区分と言われますが、レジ袋一つ分にも満たない生ごみでも事業所ごみとして回収してくれるのでしょうか？されるとした場合、ガソリン代、人件費などのほうがSDGsに反する行為ではないかと思えます。事業所といっても極少から大企業まであり、ほとんどごみが出ない事業所の場合は、分別さえしていれば家庭ごみで出すほうが、SDGs、行政、団体含めコストも人件費も環境に良いと思えます。行政のやることは無駄が多い上に、市民、業者ばかりが負担させられている気がします。人口減から事業所減へ…。考え方を変わるときではないでしょうか？	1	16.7%
回収場所の作業量が多いため、ペットボトルの回収を行ってほしい。	1	16.7%
医療系資材等は使い切りが多いが、再利用できる資材が増えればもっと変わると思う。	1	16.7%
ごみを分別・排出していますが、イベント終了後のごみは、捨て方が間違っている場合があり、大学や施設のほうで処分してもらい持ち帰っていない。	1	16.7%
累計（延べ数）	6	100.0%
回答数（実数）	6	100.0%
無回答	0	
合計	6	

第 3 章 調査票

暮らしと環境、事業所ごみに関するアンケート調査

アンケートへのご協力をお願い

皆様には、環境行政に対しまして多大なご協力を賜っており、厚く感謝申し上げます。

このアンケート調査は、事業活動の中で、ごみがどのように排出されているのか実態を把握させていただくとともに、ごみ問題に対する意識や価値観をお聞きし、市民満足度の高い廃棄物行政を推進していくため、高知市が実施する調査です。

本調査では、高知市内に事業所を有する 300 事業所を無作為に抽出し、調査票をお送りしております。

回答は無記名方式で行いますので、どなたのお答えかはわからないようになっています。また、お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしません。

アンケートの集計結果につきましては、高知市ホームページで公表をさせていただきます。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年8月

高知市長

岡崎 誠也



環境維新・高知市
マスコットキャラクター「ケちゃん」

ご回答に当たってのお願い

- 御社の廃棄物担当者がご記入ください。
- 回答は、調査票に直接記入してください。
- 回答は、質問ごとにあてはまる番号を選んで○をつけてください。
「その他」を選んだときは、()の中にその内容を記入してください。
- 調査票は、同封の返信用封筒に入れていただき、**令和3年8月31日**までに、郵便ポストへ投函してください。

※会社名の記入と、切手は不要です。

- ◆ 本調査は、高知市が「せるぼ株式会社」に委託して行っています。
この調査についてのお問い合わせは、次のところまでお願いします。

お問い合わせ先

せるぼ 株式会社

住 所 〒780-0945 高知市本宮町105番地25

電話番号 088-855-6101

受付時間 9:00~17:00 月~金(祝日除く)

(担当課)

高知市環境部 廃棄物対策課

住 所：高知市本町五丁目1番45号

電 話：088-823-9427



暮らしと環境，事業所ごみに関するアンケート調査

(ご回答はこの用紙に直接ご記入ください。)

I. あなたの事業所のことについて

問1. あなたの事業所はどの業種に該当しますか。(あてはまる番号1つに○)

1 製造業	2 卸売業，小売業
3 建設業	4 農業，林業，漁業
5 電気・ガス・熱供給・水道業	6 情報通信業
7 運輸業，郵便業	8 金融業，保険業
9 不動産業，賃貸業	10 宿泊業，飲食サービス業
11 生活関連サービス業，娯楽業	12 学術研究，専門，技術サービス業
13 教育，学習支援業	14 医療，福祉
15 その他(具体的に：)	

問2. あなたの事業所の形態はどれにあてはまりますか。(あてはまる番号1つに○)

1 飲食店	2 事務所(本社，支社，支店，営業所など)
3 工場，作業所	4 倉庫，配送センター
5 ホテル，旅館	6 病院，医療機関，福祉施設
7 映画館，劇場，会館，娯楽施設	8 美容院，理容店
9 デパート，スーパー，ドラッグストア	10 コンビニエンスストア，商店
11 その他(具体的に：)	

問3. あなたの事業所の従業員(非正規従業員を含み，役員等は除く)は何人ですか。

(あてはまる番号1つに○)

1 5人未満	2 5人～9人	3 10人～19人
4 20人～29人	5 30人～49人	6 50人～99人
7 100人～499人	8 500人～999人	9 1,000人以上

問4. あなたの事業所の建物の，所有形態はどれに該当しますか。(あてはまる番号1つに○)

1 自社(自己所有)またはグループ所有	2 賃貸・テナント
---------------------	-----------

問5. あなたの事業所が，使用している全ての建物の延床面積はどれくらいですか。

(あてはまる番号1つに○)

1 100㎡未満	2 100㎡～999㎡	3 1,000㎡～2,999㎡
4 3,000㎡～7,999㎡	5 8,000㎡以上	

問6. 問5の建物の中には，経営者や従業員の住まいを併設していますか。

(あてはまる番号1つに○)

1 併設している(問7へ)	2 併設していない(問8へ)
---------------	----------------



II. あなたの事業所のごみに関することについて

問7. 問6で「1 併設している」と答えられた方にお伺いします。事業所と住居部分のごみをそれぞれ事業所ごみと家庭ごみとに区分して排出していますか。
(あてはまる番号1つに○)

1 区分して排出している	2 区分せずに事業所ごみとして排出している
3 区分せずに家庭ごみとして排出している	

問8. あなたの事業所では、ごみの排出量を把握していますか。(あてはまる番号1つに○)

1 すべて把握している	2 一部は把握している	3 把握していない
-------------	-------------	-----------

問9. あなたの事業所で、排出量の多いごみは何ですか。(あてはまる番号3つまで○)

1 生ごみ（食品の食べ残しや調理残渣）	2 古紙類（OA用紙、新聞、雑誌、段ボール）
3 プラスチック製品（文具など）	4 プラスチック製容器包装（弁当容器など）
5 ペットボトル	6 缶・金属類
7 ビン	8 不燃ごみ（ガラスや陶器類など）
9 その他（具体的に： _____)	

問10. 事業活動に伴って排出されるごみは、「産業廃棄物」と「事業系一般廃棄物」に区分され、それぞれ処理方法が異なります。産業廃棄物と事業系一般廃棄物の区分の違いをご存じですか。(あてはまる番号1つに○)

1 よく知っている	2 ある程度知っている	3 あまり知らない	4 全く知らない
-----------	-------------	-----------	----------

問11. 事業活動に伴って排出される下記のプラスチック類は産業廃棄物に区分されますが、あなたの事業所はどのような方法で処理していますか。(あてはまるすべての番号に○)

種 類 \ 処理方法	産業廃棄物として処理	一般廃棄物として処理	仕入れ業者が回収	その他（具体的に）
プラスチック製品	1	2	3	4 (_____)
プラスチック製容器包装	1	2	3	4 (_____)
ペットボトル	1	2	3	4 (_____)

問12. 下記のごみはどのような方法で処理していますか。(あてはまるすべての番号に○)

種 類 \ 処理方法	処理施設へ自己搬入	収集運搬業者に委託	再資源化業者に委託	その他（具体的に）
生ごみ	1	2	3	4 (_____)
古紙	1	2	3	4 (_____)
缶・金属類	1	2	3	4 (_____)
ビン類	1	2	3	4 (_____)
不燃ごみ	1	2	3	4 (_____)
その他	1	2	3	4 (_____)



問 13. あなたの事業所では、ごみ処理（リサイクル費用を含む）にかかる経費として、年間どの程度かかっていますか。（あてはまる番号1つに○）

1	1万円未満	2	1万円～5万円未満	3	5万円～10万円未満
4	10万円～50万円未満	5	50万円～100万円未満	6	100万円～500万円未満
7	500万円～1,000万円未満	8	1,000万円以上	9	把握していない

Ⅲ. 事業所におけるSDGsへの取り組みについて

SDGs（エスディジーズ：Sustainable Development Goals－持続可能な開発目標）とは、世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくるために世界各国が合意した2030年までに達成を目指す17のゴールと169のターゲットです。

貧困問題をはじめ、気候変動、生物多様性、エネルギー等、持続可能な社会をつくるために世界が一致して取り組むべきビジョンや課題が網羅されています。

2011高知市総合計画<後期基本計画>においては、ゴール12「つくる責任 つかう責任」とゴール14「海の豊かさを守ろう」に廃棄物に関する施策を設けています。

問 14. あなたの事業所では、「SDGs（エスディジーズ）」（持続可能な開発目標）で達成を目指す17のゴール（目標）と169のターゲット（より具体的な目標）のうち、いずれかに取り組んでいますか。（あてはまる番号1つに○）

1	取り組んでいる	2	取り組んでいない	3	わからない
4	その他（具体的に： _____）				

問 15. 問 14で「1 取り組んでいる」と答えられた事業所にお伺いします。現在、取り組まれている活動は「SDGs」の達成を目指す17のゴールのどれに該当しますか。（あてはまるすべての番号に○）

SDGsの17のゴール			
1	ゴール1 貧困をなくそう	2	ゴール2 飢餓をゼロに
3	ゴール3 すべての人に健康と福祉を	4	ゴール4 質の高い教育をみんなに
5	ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	6	ゴール6 安全な水とトイレを世界中に
7	ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8	ゴール8 働きがいも経済成長も
9	ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10	ゴール10 人や国の不平等をなくそう
11	ゴール11 住み続けられるまちづくりを	12	ゴール12 つくる責任 つかう責任
13	ゴール13 気候変動に具体的な対策を	14	ゴール14 海の豊かさを守ろう
15	ゴール15 陸の豊かさを守ろう	16	ゴール16 平和と公正をすべての人に
17	ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう		

Ⅳ. 事業所の環境活動、ごみの減量や資源化への取り組みなどについて

問 16. あなたの事業所では、環境問題、ごみの減量や資源化などへの取り組みを経営方針の中に位置づけていますか。（あてはまる番号1つに○）

1	位置づけている（位置づけている内容： _____）
2	今後、位置づける予定（位置づける予定の内容： _____）
3	位置づけていない
4	今後も位置づける予定はない



問 17. あなたの事業所では、日頃からごみの減量や資源化に取り組んでいますか。
(あてはまる番号1つに○)

1 積極的に取り組んでいる(問18へ)	2 ある程度取り組んでいる(問18へ)
3 あまり取り組んでいない(問18へ)	4 取り組んでいないが、今後は検討したい(問20へ)
5 取り組んでいないし、今後も取り組む予定はない(問22へ)	

問 18. 問 17 で、「1」～「3」のいずれかと答えられた方にお伺いします。あなたの事業所がごみの減量や資源化に取り組んでいるのはどのような理由からでしょうか。
(あてはまるすべての番号に○)

1 ごみ処理経費の削減のため	2 経営方針等に基づく環境負荷の低減(CO2の削減など)のため
3 企業の社会的責任を果たすため	4 会社のイメージ・競争力アップのため
5 会社、業界へ取り組み支持があったため	6 ごみを保管するのに問題が生じたため
7 その他(具体的に:)	

問 19. 問 17 で、「1」～「3」のいずれかと答えられた方にお伺いします。現在、あなたの事業所では、ごみの減量や資源化としてどのような取り組みを行っていますか。
(あてはまるすべての番号に○)

1 使用済みOA用紙の裏紙活用や、両面コピーなど、紙を有効利用している
2 古紙類の分別を徹底し、資源化ルートにのせている
3 データ等の電子化によるペーパーレス化を推進している
4 シュレッダーごみを資源化している
5 簡易包装を推進している
6 マイバッグ運動や持参レジ袋の有料化を行っている
7 生ごみ処理容器を導入している
8 割り箸や使い捨てカップ・容器等の使い捨て製品を使わないようにしている
9 食品ロス(食べ残し・調理くず)が少なくなるような工夫をしている
10 繰り返し使用できる製品や、グリーン購入対象品を使用または生産、販売している
11 顧客向けに、店頭回収(資源回収ボックス等の設置)を実施している
12 従業員向けに、ごみの分別や資源回収のためのボックス等を設置している
13 適正な在庫管理を心がけている
14 減量化・資源化計画を作成している
15 事業所の3R(リデュース・リユース・リサイクル)への取り組みをPRしている
16 廃棄物管理責任者又は廃棄物管理担当者を定めている
17 環境マネジメントシステム(EMS)の認証取得(エコアクション21, ISO14001など)をしている
18 その他(具体的に:)

◆食品ロスとは

まだ食べられるのに廃棄される食品のことで、日本では年間約600万トン(平成30年度推計)排出されています。

◆グリーン購入とは

製品やサービスを購入する際に、環境を考慮して、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入することです。



◆環境マネジメントシステム（EMS：Environmental Management System）とは

事業者等が環境に関する方針や目標を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくための体制・手続き等の仕組みのことで、環境省が策定したエコアクション21や、国際規格のISO14001などがあります。

問20. 問17で、「4 取り組んでいないが、今後は検討したい」と答えられた方にお伺いします。あなたの事業所で、「今後は検討したい」とするごみの減量や資源化への取り組みはどのような内容でしょうか。（あてはまるすべての番号に○）

1	使用済みOA用紙の裏紙活用や、両面コピーなど、紙を有効利用する
2	古紙類の分別を徹底し、資源化ルートにのせる
3	データ等の電子化によるペーパーレス化を推進する
4	シュレッダーごみを資源化する
5	簡易包装を推進する
6	マイバッグ運動やレジ袋の有料化を行う
7	生ごみ処理容器を導入する
8	割り箸や使い捨てカップ・容器等の使い捨て製品を使わないようにする
9	食品ロス（食べ残し・調理くず）が少なくなるような工夫をする
10	繰り返し使用できる製品や、グリーン購入対象品を使用または生産、販売する
11	顧客向けに、店頭回収（資源回収ボックス等の設置）を実施する
12	従業員向けに、ごみの分別や資源回収のためのボックス等を設置する
13	適正な在庫管理を心がける
14	減量化・資源化計画を作成する
15	事業所の3R（リデュース・リユース・リサイクル）への取り組みをPRする
16	廃棄物管理責任者又は廃棄物管理担当者を定める
17	環境マネジメントシステム（EMS）の認証取得（エコアクション21、ISO14001など）をする
18	その他（具体的に： _____）

問21. 問17で、「1」～「4」のいずれかと答えられた方にお伺いします。あなたの事業所で、今後、新たに又はこれまで以上にごみの減量や資源化したいと考えているごみの種類は次のどれでしょうか。（あてはまるすべての番号に○）

1	生ごみ	2	OA用紙	3	シュレッダー紙
4	新聞・雑誌類	5	段ボール	6	プラスチック製品
7	プラスチック製容器包装	8	ペットボトル	9	発泡スチロール
10	缶・金属類	11	ビン	12	古布類
13	小型家電製品	14	木くず、剪定枝	15	粗大ごみ
16	その他（具体的に： _____）				



問 22. あなたの事業所で、ごみの減量や資源化を進めていくうえで、どのような問題点がありますか。(あてはまるすべての番号に○)

1	資源化にかかる費用が高い
2	分別や資源化の方法が分からない
3	分別に手間や費用がかかる
4	分別した資源物等の保管場所がない
5	適切な資源物回収業者が分からない
6	従業員に対して、分別や資源化を徹底させ、意識改革を図ることが難しい
7	機密文書が多く資源化が難しい
8	ペーパレス化など、紙類の使用量を削減する取り組みが難しい
9	減量してもごみ処理経費が削減されるなどの経済的メリットがない
10	ごみ処理や資源化について、質問や相談する窓口が分からない
11	その他(具体的に：)

問 23. 今後、あなたの事業所がごみの減量や資源化に取り組んでいくために、行政に期待することはどのようなことでしょうか。(あてはまるすべての番号に○)

1	許可を持つごみ処理業者や資源物回収業者に関する情報提供の充実
2	他の事業所が取り組んでいる先進事例の紹介
3	優良な排出事業者を表彰する制度の導入
4	一定規模の一般廃棄物多量排出事業者に対して減量計画書の提出を義務づける
5	事業所から出た資源化可能な紙類の清掃工場への搬入禁止
6	事業所から出た資源化可能な紙類などを市が資源物として受け入れる
7	事業所に対する指導
8	その他 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> 具体的に： </div>

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。

お手数ですが、回答用紙は、令和3年8月31日(火)までに、同封の返信用封筒(切手不要)にて郵便ポストにご投函ください。

なお、「事業系ごみの出し方手引き」を同封いたしますので、今後のごみ処理のためご活用ください。

※ ご提出いただいた調査票は返却できかねますのでご了承願います。



令和3年度
暮らしと環境，事業所ごみに関するアンケート調査
調査報告書

発行 高知市環境部 新エネルギー・環境政策課
〒780-8571 高知市本町五丁目1番45号
TEL 088-823-9209
FAX 088-823-9553

発行日 令和3年（2021年）12月